

森～川～海を結ぶ都市型河川の自然再生と自然豊かな都市環境を

## NPO法人 アマモ種子バンク

・平成21年1月に、4つの市民団体（ブナを植える会・住吉川清流の会・神戸川と海を考える会・アマモ種子バンク）が住吉川流域連絡協議会を組織し、六甲山から神戸の市街地を経て神戸港に流れる住吉川流域の森～川～海を一体とした自然再生と生物多様性の向上を目指した活動を行うとともに、自然の乏しい都市環境に本来の豊かな自然を取り戻すための活動を行っています。

・住吉川流域は、山間部では気軽に山歩きを楽しむ市民も多く、河川域では整備された河川敷を多くの市民が日常的に散歩を楽しむなど、都市生活者にとって身近で貴重な自然環境となっています。この都市型河川に本来の豊かな自然を取り戻し、日々の生活に豊かな自然を取り戻すことを目指しています。

・六甲山系に位置する上流の森では落葉広葉樹の植樹と育樹活動を行い、保水力と防災機能が高



住吉浜祭りでの潮干狩りを楽しむ市民（2010.5.16）

く、生産性と生物多様性に富んだ森づくりに取り組んでいます。

・市街地を流れる河川域では、これまで治水対策が優先され、直線的な河川形状や大小多数の人工的な堰が生き物の生息や自由な移動を妨げていることから、海と川を回遊するアユの棲みやすい川づくりを通じて、生物多様性に富んだ川づくりを目指しています。

・港湾区域に指定されている河口域はこれまで産業利用が優先され、住民が近づきにくい海岸となっていますが、干潮時にはアサリやエビ・カニ類など意外と多くの生きものが生息する砂浜が現れます。この都会に残された貴重な砂浜を、地域住民が安全で快適に潮干狩りや磯遊びが楽しめる里海づくりを目指しています。

・推進母体である住吉川流域連絡協議会では、毎年2回地域住民を対象に行政機関、活動団体、研



毎年春と秋に開催する報告会・講演会（2010.3.4）

### ■連絡先

代表者 出口一郎  
〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目1-8

TEL : 0798-42-3884  
FAX : 0798-42-3884

■ホームページ <http://www10.ocn.ne.jp/~amamo.bk/>

■E-Mail : Amamo.bank@sweet.ocn.ne.jp



上流に遡上して縄張りを持つ大型のアユ（上）と堰を越えられずに下流で群れる小型のアユ（下）〈左〉住吉川の河口域で最も生息量の多いアサリ〈中〉住吉川で地元市民に最も親しまれている、ほほえましいカルガモの親子〈右〉

究者などによる報告会・講演会を開催し、情報提供に努めています。

・この活動はトヨタ自動車株式会社のトヨタ環境活動助成プログラムの助成を受けて実施しています。

上流の五助の森では、幼児からシニア世代まで3世代による植樹活動を続けています。（写真上）

河川域では、春に天然のアユが神戸港から遡上し（写真中央）、晩秋には下流で産卵しています。ふ化直後の仔魚も確認され、アユの生息を阻害している要因も明らかになりました。現在河川管理者と協働しながら対策を検討しています。

河口域の砂浜では予想を超えるアサリ（写真下）の生息が確認されました。どうすれば住民がもっと親しめる海になるのか考えています。多くの方のご意見やご参加をお待ちしています。



三世代による落葉広葉樹の植樹活動（2009.11.15）



神戸港から住吉川に遡上する稚アユの調査活動（2009.4.23）



住吉川河口域におけるアサリの定量調査（2009.4.27）

### ■主な活動地名

兵庫県（神戸市、明石市、赤穂市ほか）、和歌山県田辺市、

子供たちと楽しく、わかりやすい環境教育を!!

## 海と空の約束プロジェクト

### 1 私たちの活動

自費出版した環境絵本「海と空の約束」(テーマ:水の循環、自然の自浄作用、生物多様性保全、環境教育)や紙芝居を使って、子どもたちに判りやすい環境教育活動を展開したり、講演会、自然観察会の主催や支援を主にしています。協働してくださる団体、行政やコラボできる環境教育イベント、支援して下さる事業者などを探しています。

### 2 今、がんばっている主な活動

①絵本の原画展や大型紙芝居 (A 1 サイズ)、講演活動をやっています

(明石市子ども図書館・淡路市中央公民館・こべっこランドほか)

子供たちが集まる場所や環境イベント等で絵本の原画展や大型紙芝居や環境教育を行い判りや



こうべ環境未来館ビオトープ観察会支援



貸し出し用英語併記紙芝居 (A 1・A 2・B 4サイズ)

すい環境教育を行うもの。日程があえばどこでも出かけます。

②他団体の環境関連事業とコラボし、原画展、環境絵本の大型紙芝居や環境クイズを行い判りやすい環境教育を展開。

住友信託銀行明石支店ロビー原画展展示 (2010. 3)、エコウイングあかし(2010. 5)、JAL エコ教室 (2010. 5)、灘浜サイエンススクエア環境教育 (2010. 5)、海上保安庁海の環境学習 (2010. 6)、環境省 (2010. 7)、兵庫県立大学 (2010. 7)、琵琶湖環境イベント(きんぎ環境館・ウォーターステーション琵琶の会 2010. 7)、播磨町夏休み面白教室 (2010. 8) など様々なセクターとコラボ事業展開中。

③自然観察 (見守り) や観察会の支援活動  
こうべ環境未来館ビオトープ活動をサポート

(2004年～)、西舞子 (神戸)・大蔵海岸 (明石) の海浜性植物や浅海部のアマモ場の継続観察、朝霧川 (明石) の植生再生観察など

④海と空の約束紙芝居 (B 4サイズ:英語版併記) の貸し出しや寄贈、実費頒布  
人と自然の博物館、神戸市中央図書館、明石子ども図書館、こべっこランド、須磨水族館、ひょうごエコプラザ、エコレンジャー、アースパル神戸、エコウイングあかし、コープこうべ生活文化福祉部、垂水婦人会、きんぎ環境館、環境省パートナーシップオフィス、賀川豊彦記念館、広島大学えこページ、兵庫県立大学、ハワイ大学等・・49か所 (2010. 6 現在:ご希望があればB 4サイズ紙芝居は実費で頒布します。環境イベントで活用できるA 1・A 2サイズ紙芝居は貸し出ししています)

⑤絵本「海と空の約束」の子供たちの施設などへの寄贈活動継続

絵本の売り上げを原資に企業等の支援も頂きながら保育所や児童館など児童福祉施設や教育施設等に絵本を寄贈しています。

(神戸市、明石市、三木市、淡路市、東広島市内等の全ての保育所や児童館などこれまで約2000冊の絵本を寄贈しています。また、スカイマークとJALの全ての飛行機にも子供用の読み物として複数冊、搭載されています。

### 3 私たちのこと。

行政マン、イラストレーター、医師、自然写真家、会社員、パン屋、教師など様々な社会人で活動を始めました。それぞれ環境カウンセラーやネイチャーゲーム、自然観察、山歩き、キャンプ、写真撮影、ダイビング、サイクリングなどが得意です。NPO や市民団体、企業、行政はもちろん、大学、高専、専門学校の環境サークルや高校生ともコラボできれば嬉しいです。土日中心ですが日程があえば行きます。

是非、力や活動を繋げて、子どもたちに楽しく判り易く良質の環境教育を展開しましょう!!

活動の様子は、海と空の約束プロジェクトホームページ (<http://umisora.petit.cc/> 海空約束 → 検索) でご覧いただけます。読み聞かせのお手伝いをして下さる方いませんか?



大型紙芝居読み聞かせ (明石子ども図書館)

### ■連絡先

代表者 西谷 寛  
〒673-0869 兵庫県明石市大蔵谷東山440-14

TEL : 090-1441-9571

■ホームページ <http://umisora.petit.cc/>

■E-Mail : [happy24tani@ybb.ne.jp](mailto:happy24tani@ybb.ne.jp)

### ■主な活動地名

神戸・明石・兵庫県南部〜どこでも。

## みんなの森・癒しの森を目指して 里山放置林の再生 からと公園林づくりを楽しむ会

みどり滴る林間に芳しい香りが漂い、森の妖精とも言われるササユリが咲き始めたようです。里山放置林の手入れを始めて3年目にササユリが2輪咲き、毎年3輪、5輪と増え今年は20輪花を付け住宅街の中心部の森をコアジサイとともに彩っています。手入れ後に確認された林床植物はチゴユリ・ギンラン・アリマウマノスズクサ・オカトラノオ・ツルニンジン・ハンショウヅル・コウヤボウキ、樹木では高木を除去したので光が入ったためかウグイスカグラ・ヤブムラサキ・マユミなどが花を付け実を付けています。薪炭林として利用されていた頃はササユリなどが咲き乱れる植生豊かな里山だったようです。

この森は昭和40年代に神戸市が里山を住宅地として開発造成した集合住宅、戸建住宅が混成している住宅街の中心部にある1ha程の森です。隣接している運動公園林全体が「からと公園林を楽しむ会」の活動地です。子供たちが安全に通学で



北高校生と森の手入れ



樹木の伐採

きるような環境づくりをしようと地元有志がボランティアを始めました。10年前は、小学生、中学生の通学路だった道沿いのトウネズミモチが開発時に植栽されたまま放置伸び放題、横の森は道を挟む住宅の関係か大型ゴミの捨て場になっている暗い森でした。

近くにある県立神戸北高校の生徒と先生方が学校行事の合間に年10回土曜日に活動に参加されています。活動内容は、除間伐・枝打ち・下草刈り・森の小道作り・樹木の名札付けなど地元のボランティアグループと一緒に交流しながら活動しています。

私たちが続けてきたボランティア活動が、地域のみなさんの憩いの森になり、子どもたちが安心して遊べる、また、身近な生き物の観察が出来る森になるよう手入れを続けていきたいものです。



アリマウマノスズクサ〈左〉  
ササユリ〈中〉  
コックパネウツギ〈右〉



ハンショウヅル



林内に咲くオカトラノオ



林内に咲くササユリ

### ■連絡先

代表者 中川貴美子  
〒651-1332 兵庫県神戸市北区唐櫃台2-6-18

TEL : 078-981-7084  
FAX : 078-981-7084

### ■主な活動地名

六甲からと公園

大都市・神戸を生きもの溢れるまちにエコアップ

## 神戸エコアップ研究会

### 主な活動の歴史

- 92年 3月 神戸エコアップ研究会結成  
 93年 2月 第1回ニュータウンで茅刈り  
 (現在も神戸芸術工科大学で実施中)  
 93年 9月 神戸市主催エコポリスセミナー運営  
 95年12月 グラウンドワーク国際シンポジウム  
 97年 3月 神戸市立御影小学校ビオトープ完成  
 98年 1月 全国ボランティア集会環境部会  
 98年 8月 全国トンボ市民サミット神戸大会主催  
 99年 5月 農都共生ネットこうべ発足  
 00年 1月 リーダーのための奥須磨公園  
 ガイド発行  
 01年 9月 第9回全国雑木林会議神戸大会開催  
 02年 6月 神戸の海と山展主催  
 92年～02年  
 約100回にのぼる観察会・  
 講演会・研究会開催



奥須磨公園での水辺かんさつ会（奥須磨公園にトンボを育てる会主催）

- 02年～07年 活動休止  
 08年 4月 活動再開。フィールドワークは  
 関連団体に任せ研究会活動のみに特化  
 08年 6月 神戸の海は宝箱  
 (海中写真家・宮道成彦氏)  
 08年 8月 須磨産のカブトムシを増やす  
 (こどもとむしの会・山本勝也氏)  
 08年 9月 神戸の田んぼのカエルたち  
 (須磨海浜水族園・土井敏男氏)  
 08年11月 最近の雑木林事情  
 (京都学園大学・中川重年教授)  
 09年 1月 西表の自然～その光と影  
 (兵庫・水辺ネットワーク・大嶋範行氏)  
 09年 7月 生物多様性神戸戦略討論会  
 (神戸市環境評価共生推進室・  
 西谷室長)  
 09年10月 農の生物多様性神戸戦略討論会  
 (農と自然の研究所・宇根豊理事長)  
 10年 4月 神戸のカワバタモロコ保全活動  
 (兵庫・水辺ネットワーク・安井幸男氏)



厳寒の水仙〈左〉



秋の紅葉〈右〉

### 会員が活動に関する主な団体

兵庫・水辺ネットワーク、農都共生ネットこうべ、阪神都市ビオトープフォーラム、横尾自然塾、NPO法人近畿水の塾、バーピ連、全国雑木林会議、NPO法人エコレンジャー、奥須磨公園にトンボを育てる会、全国トンボ市民サミット、



奥須磨公園フェスティバル（同実行委員会主催）

私たちは、1992年から活動を始めました。まだ、ビオトープ、自然環境再生、近自然型河川工法、そしてエコアップという言葉が聞きなれない頃でした。須磨区の奥須磨公園を地域の研究者からトンボ公園にしてほしいとの要望が出され、市職員としてどう対応すべきか悩んでいました。そんな折に、横浜市環境科学研究所の森清和さんと福岡県柳川市の広松伝さんが神戸に来られアドバイスをいただきました。市民活動をリードするような活動をまず、市職員から始めようということになり、公園と環境保全の技術系職員を中心に神戸エコアップ研究会が発足しました。

エコアップとは、森清和さんが作った言葉で、環境の生態学的な改善を目指すということです。ビオトープ（野生生物の生息空間）を目標にしたまちづくりというよりは、エコロジカルに環境を改善するほうが相応しい言葉であり、会の名称になりました。92年から20年弱になり、活動を休止した時期もありましたが、再開してからは、主に講演会・勉強会活動を中心に活動しています。また93年には、市民の組織として奥須磨公園にトンボを育てる会も発足し連携して活動しています。

お世話になった森清和さんも広松伝さんも、ともに鬼籍に入りました。非常に残念です。彼らが残した環境への熱い思いや市民活動への暖かい眼差しを次代につなぎたいと思っています。

### ■連絡先

代表者 高畑 正  
 〒654-0131 兵庫県神戸市須磨区横尾9丁目3-22

TEL : 078-743-1638  
 FAX : 078-743-1638

■ E-Mail : buabg727@hi-net.zaq.ne.jp

### ■主な活動地名

神戸市内

体験・挑戦・広がる活動そんなこんなでSAPV

## 神戸市立須磨海浜水族園ボランティア

私達 SAPV は須磨海浜水族園を拠点に大きく3つのグループに分かれて活動しています。

1：ガイドツアーグループ：ガイドツアーグループでは現在3種類のツアーを実施しています。本館の裏側探検バックヤードツアー（ミニ探検ツアー）・イルカライブ館の裏側を知るイルカツアーそして個々の水槽を解説してヒミツに迫るディスカバリーツアーです。

2：フロアコミュニケーショングループ：SAPV随一の多彩な活動を行なっているグループです。タッチプールでの生き物解説・古代魚紙芝居・ウミガメ解説といったものから貝殻を使ったお雛様作りなどの季節に即した各種イベントなどお客様との触れ合いを中心に活動しています。

3：学芸補助グループ：水族園近くのヨットハーバーを中心としたクラゲや稚魚の採集、漂着物調査、市場へ出かけての商業魚類調査など園の学芸活動への協力をメインに行なっています。



水族園本館3階のタッチプールで生き物解説を行っています

私達に限ったことではないと思いますが、年齢・性別・職業・経歴から興味・関心の領域に至るまで異なった背景を持った者同士が集まって活動することによって新しい発見や価値観に出会い、互いに刺激しあいながら新しい活動を模索したり、それを実際に定期的な活動へ創り上げたりと可能性は無限かな・・・などと思ったりしながら楽しく活動しています。

また、なんといっても活動場所が水族園ですから、興味を惹かれる生き物たちに困ることはありません。先月と今月、先週と今週、朝と夕方でも生き物たちは異なった姿を私達に見せてくれます。そんな生き物たちの姿を水槽の表側からだけでなく、裏側からも見ることが出来たりするのも魅力の一つかも知れません。



子供達に参加型手作イベントを行っています

淡水にも海水にも未だ多くの未知の生物が私達との出会いを待っていてくれると考えています。そして同様にこの拙稿を読んでいただいて興味を持っていただけた方がいらっしまったなら、是非水族園でお会いしたいと思います。



水族園の水槽前でスポットガイドを行っています

SAPV では、現在年に1度新規の募集を行なっています。魚や様々な生物についての知識がなくても心配ありません。生き物が好き！という気持ちがあれば大歓迎です。さらに調子に乗ってPRですが、須磨水族園のホームページをご覧ください。するとそこにはSAPVのホームページへのリンクがありますので勢いで覗いていただければ幸いです。ここに書かせていただいた活動に関してもさらに詳しく説明させていただいています。



水族園の裏側探検を行っています



水族園に身近なヨットハーバーでクラゲ・稚魚観察を行っています

### ■連絡先

代表者 会長 萬井智恵子  
〒654-0049 兵庫県神戸市須磨区若宮町1-3-5

TEL : 078-731-5020  
FAX : 078-733-6333

■ホームページ [http://kobe-ita.or.jp/aquarium/www/geocities.jp/sapv\\_kobe/](http://kobe-ita.or.jp/aquarium/www/geocities.jp/sapv_kobe/)

### ■主な活動地名

須磨海浜水族園内・神戸市近辺

六甲山これからの100年の森を一緒に育てましょう。

## こうべ森の学校

### ① 沿革について

神戸市主催で2002年に六甲山緑化100周年記念事業として有識者、関係者、市民などによる懇話会を設け、これからの六甲山のあるべき姿の提言書をまとめてもらいました。それに基づいて六甲山について自由に討議し、森林を市民の手で手入れをしていく組織を一般募集し、神戸市と市民ボランティアで2003年8月に第1回こうべ市民演習林（仮称）を行いました。その年、その趣旨に賛同した伊藤ハム(株)から資金提供を受けると共に伊藤ハム社員のボランティア参加も受け入れています。

### ② 内容について

再度公園周辺の市有林のみどりの育成と保全に関わっています。スギ・ヒノキの人工林では混交林へと導くべく、除伐・間伐を行った跡へ、サクラやアジサイ他の苗木の植栽を行っています。混交林では適切な除伐を行い、四季折々に美しい森



森の手入れ。森の中を見通しよくしています。



森の手入れ。切った木をきれいに集積しています。

づくりを目指した活動を毎月一日の定例活動日を中心に行っています。

森の活動では安全第一を心がけ、安全委員会を設置し、救命・救急対応（北消防署）、森の手入れ技術指導（養父市森林組合）、安全マニュアルの作成と勉強会等を実施しています。また、編集委員会では「こうべ森の学校だより」二ヶ月に1回発行、会員相互の意見・学習・提案等の発表の場として、さらに他の団体との情報交換として現在33号となっています。

会員の活動内容をより充実させるべく、自然観察班では主として初心者を対象に自然観察会をもち、マップを作成、四季の樹木や自然の姿に接して基礎的な学習をすすめています。次に森の手入れ班では演習林での間伐・除伐・枝打ち・下刈り・ツル切りなどを経験しながらより的確な技術の習得に努めています。また苗づくりも行っており、六甲山に適した樹木の育成と適正な植樹を行って



コパノミツバツツジ



シチダンカ



ササユリ

4月中旬から下旬が見ごろです。自生種でたくさん生えています。〈左〉六甲を代表するヤマアジサイの仲間です。6月中旬が見ごろです。〈中〉森の手入れをすると、こんなかわいいうち花が生育します。見ごろは6月下旬です。〈右〉

います。木工細工班では間伐された幹や枝材を活用して、ペンダント作り、イベントなどでの指導にもあたっています。また、森の匠グループではこれまでにログハウス、炭焼&パン釜、温室、トーテムポールなど少し規模の大きな施設等の製作活動を行いました。

森の学校では広く市民との交流を積極的に図るべく「こうべ森の文化祭」、グループ祭、花のフェスタ、グリーンフェスタ、自然公園ふれあい全国大会、各種フォーラムやシンポジウムなどに参加、また、ログハウスのホールを使って「森の音楽会」を主催し、これまでにピアノ、ヴァイオリン、マンドリン、ギター、声楽等を開催し、いずれも好評を得ています。

### ③ 参加者について

1回につき定年後の60～70才代の人が約80名でそのほとんどが市内在住者です。会の活動には12歳以上の六甲に関心のある者なら誰でも参加できます。ただし、12歳未満の者が参加する場合は保護者同伴としています。

森を育てるために必要な手入れによって得られた木材やツルを活用することで森を楽しむことが出来ます。むしろこれらの「森の恵み」をどんどん活用することが森の必要性を高め、森の手入れを促します。



炭焼き。切った木を資源として有効利用しています。



道づくり。森の手入れだけではなく、散策路も直しています。



自然観察会。勉強もしています。

### ■連絡先

〒651-1102 兵庫県神戸市北区山田町下谷上字中一里山4-1 TEL : 078-371-5937  
神戸市建設局公園砂防部 森林整備事務所「こうべ森の学校」係 FAX : 078-371-1087

■ホームページ <http://www.k5.dion.ne.jp/~kobemori/>

■E-Mail : morinogakkou@w8.dion.ne.jp

### ■主な活動地名

再度公園、再度公園周辺市有林

森で遊べば、森がきれいになった!

## こうべ森の小学校

### ○沿革・目的

「こうべ森の小学校」は、市民、企業、市が協働で六甲山の保全に取組み次世代に引継ぐ「市民参加の森づくり事業」の一環として、平成9年度から神戸市の事業として実施しています。これまで森に関わりを持つ機会の少なかった市民を対象に、里山作業や自然学習、遊びなどを通じて森の大切さを理解してもらう啓発事業で、六甲山の森林や自然環境保全に関する市民意識向上を図るとともに、将来の森林ボランティアの担い手育成を目的としています。

この活動の趣旨に賛同していただいたハウス食品株式会社より平成16年度～平成21年度まで資金や製品の提供を受けていました。

### ○活動場所・内容

「こうべ森の小学校」では、六甲山系の再度山に位置する再度公園を主な活動場所として森林や自然に親しむことの出来る活動を実施しています。

### ①森の手入れ

- ・常緑樹の除伐
- ・笹などの下草刈り
- ・桜や紅葉、コナラなどの落葉樹の植樹



ハサミを使って下草刈り

### ②森の中の自然観察会

- ・植物観察
- ・蝶の観察
- ・昆虫観察
- ・水辺の生き物観察
- ・キノコ観察



蝶々の観察会で追いかけて!

### ③作品づくり

- ・間伐材を利用した木工工作
- ・森で拾った小枝や葉の木工細工
- ・落ち葉のしおり作り
- ・さまざまな色の押し花アート
- ・たたき染め
- ・竹を使った楽器工作
- ・木の実を使った工作



親子で押し花アート作成中



コバノミツバツツジの開花〈左〉  
再度公園のシチダンカ〈中〉  
再度公園の紅葉は絶景です!〈右〉

### ④ネイチャーゲーム

- ・自然探しビンゴゲーム
- ・森のクイズラリー
- ・落ち葉プールで宝探し



落ち葉プールで宝探し!  
見つかるかな?

### ⑤薪や炭を使った野外調理

- ・ぜんざい
- ・ピザ
- ・パエリア
- ・カレー
- ・鍋
- ・おやき
- ・焼き芋
- ・ジャガバター
- ・ヘビパン



ぜんざいのお餅を炭火で焼こう

### ○募集

- ・活動日時… 毎月1回(主に第3日曜日)  
10:30~15:00

- ・参加者…… 小学生位のお子様連れの親子の方  
約60名/1回

(大人の方のみの参加はかまいませんが、小学生以下の方は必ず保護者の方と一緒に参加してください。)

- ・ボランティアスタッフ……ボランティアスタッフの方々が活動をサポートしています。  
ボランティアスタッフとしての参加もお待ちしております。

### 「森で遊べば、森がきれいになった。」

活動エリアの再度公園は名勝指定されており、公園内には「日本の名松百選」にも選ばれてる松や桜、アジサイ、紅葉などの美しい景色が楽しめます。そんな四季折々の景色を楽しみながら遊んでみませんか!?

自然の中で森林を利用して、普段出来ない遊びや勉強、料理をすることで、使われていない森林はきれいになっていきます。そして自然の中での活動に興味を持ってもらえたらいいなと思って活動を行っています。

自然の中で遊んでみたい子供たちや、昔自然の中で遊んだ思い出を子供にも体験させたい、一緒に遊びたいという大人たち、ぜひ一度再度公園に遊びにきてみてください。

### ■連絡先

代表者 高畑 正

〒651-1102 兵庫県神戸市北区山田町字中一里山4-1

TEL : 078-371-5937

FAX : 078-371-1087

■ホームページ <http://k5.dion.ne.jp/~kobemori/index.htm>

■E-Mail : mori-shou@w6.dion.ne.jp

### ■主な活動地名

再度公園

自然を再発見! いっしょに自然観察をしませんか?

# NACS-J自然観察指導員兵庫連絡会



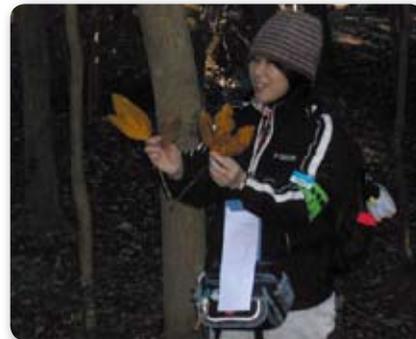
芦屋川支流の高座川上流にてバレリーナが登場〈左〉  
六甲水系の生き物調べにてイカツイ表情で登場〈中〉  
六甲山水系の生き物調べにて〈右〉

私たちは:

自然観察会等を通して、自然とつきあうことの楽しみを広めます。また、そうした活動の交流をすすめて、ひいては自然を守ることに繋がります。

主な活動は:

1. 情報交換・提供
2. 研修会の開催
3. 自然観察会の開催
4. 他団体との協力です。



「明石公園自然観察会」の様子。下見から参加がお勧めです。

主な活動の紹介:

## 1. 情報交換・提供

各地の色々な自然系の動きを情報収集し公開します。毎月例会を行い、収集した情報とそこに持ち込まれた情報や会として活動予定を「兵庫連絡会通信」としてメール発信しています。

## 2. 研修会の開催

会員の研鑽や親睦を兼ねて、自主研修会を行っています。

## 3. 自然観察会の開催

県内各地で、さまざまな自然観察会を実施しています。会員個人で開催する小規模のものから大人数で対応するものまで、会員の自由意志に基づく企画と協力で行っています。

## 4. 他団体との協力

他団体と協力し、自然観察会や自然観察の手法をもちいた自然活動プログラムやワークショップを行っています。



「六甲水系の生き物調べ」の様子。六甲山の水辺の生き物を調査しています。



「エコフェスティバル」の様子。訪れた方と簡単なゲームや仕掛けで自然の面白さを感じます。



「六甲山定例自然観察会」の様子。六甲山での観察会のお手本です。

（財）日本自然保護協会（NACS-J）が行う自然観察指導員講習会を受講した人、あるいは、この活動の趣旨に賛同する人の集まりです。自然観察指導員個人の活動を尊重し、その活動の情報交換や人とのつながりを促進するゆるやかなネットワークです。

自然観察会や保護運動について、会員それぞれがやりたいと思っている活動、実際に行っている活動をアピールし、他の会員たちが参加したいものを選んで活動するという「この指とまれ!」型のフレキシブルな方式をとっているのが特徴です。

身近な自然を見つめ、発見を楽しみ分かち合うことから始まる、自然保護・環境保全活動をみなさん一緒にやりませんか。



「自然観察指導員講習会」の様子。自然観察を広める仲間を増やします。

## ■連絡先

代表者 笠井 環  
〒658-0032 兵庫県神戸市東灘区向洋町中7-2-3  
ウエストコート8番街2番館211号

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~njhyogo/>

■E-Mail : tamaki.k@gmail.com

TEL : 090-1135-7969

FAX : 078-857-5914

## ■主な活動地名

六甲山及びその周辺。 その他県内各地。

農と都市の共生をめざして

## 農・都共生ネットこうべ

神戸の田園風景〈左〉  
田んぼの親子〈中〉  
彼岸花〈右〉

## 農・都共生ネットこうべ

(略称：農都ネット)の概要

1998年8月に開催した全国トンボ市民サミット神戸大会で、「都市と農の共生」する地域づくりを住民、企業、行政が協働でめざそうとの大会宣言を採択し、この宣言を現実のものとするために、翌年1999年5月に「農・都共生ネットこうべ」は設立しました。都市と農の連携・交流・共生をめざして「田んぼの楽校」「学校ビオトープかんさつ会」「いきいきため池大作戦」「エコツアー」「市民活動交流会」「映画田んぼ上映会」などの活動をしています。



田んぼの楽校平野分校での田植え

## 田んぼの楽校

場 所：神戸市西区平野町中津 上津橋地区

面積と収穫量：約1000㎡で年間約400kg

目 的：農と自然、食と自然、そして都市と農について楽しみながら学ぶ

内 容：代掻き、田植え、草引き、畦豆植え、生きもの調査、稲刈り、収穫祭……

参加団体：上津橋土地改良区・横尾自然塾・コープ自然派兵庫・農都ネットこうべ

## 学校ビオトープかんさつ会

場 所：神戸市東灘区 向洋小学校

開催日：22年5月29日（土）、7月17日（土）、  
10月16日（土）10時半～12時  
23年3月19日（土）10時半～12時

主な生きもの：ギンヤンマ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、キイトンボ他

## エコツアー

藍那里山（国営公園）エコハイク：神戸カワバタモロコ保全協議会と共催。8月8日  
藍那里山で自然の恵みを探そう：神戸市親子ふれあい環境教室の一環で。10月30日



田んぼの楽校木見本校での最初の田んぼづくり

全国トンボ市民サミット埼玉寄居大会に参加しましょう！9月4～5日

## 長編ドキュメンタリー「田んぼー生きものは語るー」好評！上映中

制作：映画田んぼ制作委員会

協力：NPO法人生物多様性農業支援センター、全国農村映画協会

時間：約60分

内容：田んぼの生きものや田んぼをとりまく風景を背景に、人と農業、人と環境との関わりを描きながら、これからの農のあり方を提示している。

募集：興味のある団体は農都ネットにご連絡ください。映画「田んぼ」の上映に参上します。その際、映画の解説や農都ネットのお話もさせていただきます。なお、映画には短編（約20分）もあります。原則は無料。

## ■連絡先

代表者 高畑 正

〒651-0078 兵庫県神戸市中央区八幡通6丁目2-8

アカシカビル2階 有限会社ランドシャフト内

■ホームページ <http://nouto.net>■E-Mail: [kobe@nouto.net](mailto:kobe@nouto.net)

## ■主な活動地名

神戸市内

# 描けばわかる!植物はふしぎのワンダーランド

## ひとはく連携活動グループ

# GREEN GRASS

GREEN GRASS は、植物画制作をしながらも、「こども植物画教室」や「高校生の植物画教室」「植物画展」といった活動を続けてきました。これらの活動は、植物画を描くことを通して一人でも多くの方が自然に触れる機会を持ってほしい、植物のおもしろさを知ってほしいとの思いから出発しました。主な活動場所の兵庫県立人と自然の博物館、神戸市立森林植物園などには、植物画活動に必要な条件がそろう、幸運な活動を続けています。

この様に、長年私達は「植物画を描く」と言う方法で自然や植物と関わってきました。植物画が絵画でありながら科学性を併せ持っていることから、私達は、植物画を描く過程で科学的なものの方見方に迫ろうとしたのです。

植物画に大切な植物の真実を描こうとすると、見る、触る、匂う、あじわう、聞くといった五感をとぎすまして植物と向きあう事になります。



制作中のこども。真剣そのものです。



こども植物画教室風景。しっかり観察して描きます。

す。また、ルーペを通して五感をこえたミクロの世界を明らかにする事もあります。1枚の葉を初めて描いて見ると、1本の脈もおそろかになっていないその緻密さ・精巧さに驚かないひとはいません。2枚目を描けば、それぞれの植物がひとつとして同じでないことに気が付きます。「中身を切ってみよう!」という好奇心や遊び心もまた、私達の植物への理解を深めます。

こうして植物をよく知ると、姿や様子はちがうけれど、私達と同じように植物も懸命に生きている仲間である事を感じます。感動や共感を



小学2年生の「柿」。実を切つて種も描きました。



ピラカンサ <左>  
クスノキ <中>  
ザイフリボク <右>

もって命のふしぎを想う気持ちが生まれてくるのです。そこから身近な植物に目を向け、植物への慈しみを持てる様になります。私達すべてを育む自然の大切さにも気づくのです。

もうお分かりでしょう、植物画を描くということが、植物や自然を知るすばらしい方法の一つだと言うことを。さあ、リュックを背負って、野山

に出かけ、出会った植物を描いてみましょう! GREEN GRASS の今後の活動は、多くの方に植物画の魅力を知っていただける様に、展示などを主に行っていきたいと考えています。どうぞ、ご期待下さい。



コブシ



ヒマワリ

### 植物画を描くとこんな世界が待っています

植物画を描くと、こんな世界がまっています!

- ① 植物にも生きていくための工夫があることを知る。
- ② 「雑草」にも名前があることを知る。
- ③ 通い慣れた道にも、沢山の植物が生きていることを知る。
- ④ 植物への共感や感動を知る。
- ⑤ リュックとお弁当をもって野山に行きたくなる。
- ⑥ 自然環境の変化に気づき、自然を守る大切さを知る。



ツリガネニンジン

#### ■連絡先

代表者 田地川和子  
〒 兵庫県姫路市

#### ■主な活動地名

兵庫県立人と自然の博物館



クローバー、  
セイヨウタンポポ、  
カラスノエンドウ (左から)

## 地域と協力して里山づくり

## 兵庫県立神戸北高等学校



作業中に出てきました〈左〉  
名もわからないきのこです〈右〉

## 概要

平成14年から、この唐櫃台（神戸市北区）の雑木林で里山づくりは続けられています。里山づくりの体験を通して、自然の大切さ、汗を流しながら働くことの重要性、奉仕精神の涵養や内面的な成長を図ることを目的としています。

地元のボランティアの方々には指導していただき、年間約10回程度実施しています。これまでの活動内容は除間伐作業、下草刈り、植生調査（観察）、樹木の名札つけ、散策の道作り等を行い、徐々に整備されてきました。しかし、これらを維持管理することが大変な作業であり、毎回やる作業は山ほどあります。現在は、地元ボランティアの方々との連携のあり方も確立されており、今後の課題としては更に生徒達に参加を呼びかけ、学校全体としての取り組みに広げていきたいと考えています。



伐採した木で階段を作っています

## 活動状況

8年間の里山での作業は、繁殖しすぎた笹の排除、除間伐作業、除間伐材を利用して林内の道づくり、また、手入れに伴いササユリ、ギンラン、オカトラノオ、チゴユリ等、貴重な林床植物が出現したので林内の下草刈りは丁寧にしています。他に除間伐材で樹木札を手作り、地元の方に頂いたコナラの苗を植栽もしました。主に、男子生徒は除間伐作業、道づくり、女子生徒は草刈りや林の中のごみ拾いなど役割を決め元気に活動しています。

活動日は、第3土曜日と決めておりますが、学校の行事や地元の方の都合、また、天候等の関係で実施日は変わります。

毎年、6月になるとササユリが咲きはじめ、地域の方や、ササユリの再生に興味のある人達が観察に来ているようです。



里山作りで整備して、自生のササユリが誕生しました



木にロープを引っ掛け、角度を変えて倒します



林内の植物観察をします



下草刈りは、やぶ蚊と汗で大変な作業です

## ■連絡先

代表者 堀 省一

〒651-1332 兵庫県神戸市北区唐櫃台2-41-1

TEL : 078-981-0131

FAX : 078-981-0132

■ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~kobekita-hs/>

## ■主な活動地名

唐櫃台雑木林

六甲山でキノコの生物多様性を調べています

## 兵庫県立御影高等学校 環境科学部

兵庫県立御影高校環境科学部では、六甲山のキノコの調査をはじめ、住吉川の生物調査や海辺の生き物調査、ウコの発生実験など様々な活動を行っています。とくに、キノコの調査には力を入れています。兵庫きのこ研究会や県立人と自然の博物館と連携して、六甲山で継続的にキノコの調査を行っています。専門家にアドバイスを頂きながら、キノコの採集と同定や分布、出現調査を実施することに加えて、得られたデータから種数を推定したり、標本を作製して保存しています。さらに作成した標本をつかって、学校内や近隣施設（御影公会堂）、人と自然の博物館にて展示会を行っています。展示用につくるキノコ標本は、凍結乾燥を行ったのちに、特殊な樹脂を染みこませて、カビが生えたり壊れたりしないように加工しています。現在では、200種類を超えるキノコ標

本をつくりました。最近ではキノコから水蒸気蒸留法によってニオイを抽出して、嗅ぎ比べができるようにしています。

兵庫県立御影高等学校では地域貢献事業の一環



人と自然の博物館「共生のひろば」で発表



御影公会堂で実施した六甲山のきのこ展の様子

### ■連絡先

代表者 河合祐介

〒658-0045 兵庫県神戸市東灘区御影石町4丁目1-1  
兵庫県立御影高等学校

■ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mikage-hs/>

■E-Mail : mikagefurano@yahoo.co.jp

TEL : 078-841-1501

FAX : 078-841-1503



サクラタケのオリジナルイラストで  
すく左  
発光キノコのシイノトモシビタケ  
(標本は光りません)く中  
標本を発生環境とともに再現く右

として今後もこの様な活動の様子を「六甲山のキノコ展」として様々な場所で公開しています。皆さんも近くへお立ち寄りの際は是非ご覧下さい。詳しくは本校のホームページでご案内します。



凍結乾燥と樹脂封入によるキノコの標本



野外調査で採ったキノコを鑑定



六甲山での採取の様子

キノコの世界はまだ未知のことが多く、とても奥が深く、難しい内容もありますが、その分、新しい発見もたくさんあります。調べるたびに初めて出現するキノコがあり感謝です。今年の3月には、日本生態学会の高校生部門にポスター発表で参加し、めでたく最優秀賞をいただきました。また7月には環境省のレッドデータブックに記載されている珍しいキノコ「ワカクサウラベニタケ」を採取しました！その他にも国内でも発見例がほとんど無い「セイタカノウタケ」や漢方薬の原料になる「マンネンタケ」、発光するキノコ「シイノトモシビタケ」など珍しくて貴重な標本を展示します。さらにキノコの香りコーナーでは、いいニオイのキノコ、くっさい匂いのキノコを是非体験してください。標本と香りで皆さんをキノコの多様性の世界へいざないます。

### ■主な活動地名

神戸市六甲山周辺

豊かな自然の復元を

## ブナを植える会

氷ノ山、鉢伏山をこよなく愛して、この山域のバイオニアであった10名の山男たちが、スキー山行を楽しんでい所に雪崩が襲った。リーダーの津田周二氏の実弟の節三氏は懸命の救助活動も空しく、不帰の人となった。現地に慰霊の十字架が建立された。そして、50年の星霜を経て、十字架が再建される事になり、再び集った岳友たち、昔はブナ林だった一帯が草原となっていた「伐るなどって通用しない、逆に植えて行こう」と十字架



第1回植樹地植樹後30年のようす



六甲ブナの移植作業

の周辺にブナを植えた。これがブナを植える会の第1回の植樹会で、時に昭和56年6月14日であった。以来、兵庫県のご支援と周辺町村住民のご協力で植樹・育樹活動は続けられ、約12,500本のブナツ子が育っている。

絶滅が危惧される六甲山のブナ、平成5年、松井会員が、紅葉谷で立派に結実した種子に出会った。関係機関のご協力で育苗して、平成12年より、六甲山上の各所に植樹を始めました。今では六甲山最高峰、極楽茶屋跡、記念碑台などに、130本前後の六甲ブナを育樹しています。現在、六甲山上の自然木のブナは132本で、私たちの育てたブナツ子は貴重な後継木として、今後も、しっかり見守り育てたく思います。平成20年のG8環境相会合の記念碑台での記念植樹に私たちの育てたブナが使われたのはうれしい事で、会としては文字通りの記念碑台となりました。

生物多様性が注目される今日、私たちは、平成19年秋より東お多福山でネザサを刈り取り、30～40年前のススキ草原への再生・調査作業を始めました。六甲山系で貴重なススキ草原を再生・



東お多福山の植生調査とネザサ刈り

但馬地方のブナの植樹～育樹。

東お多福山のススキ草原の再生事業。

会員外でも自由に参加できます。どうぞ事務局へお申し込みください。行事計画は事務局へ請求ください。

保全するのは大変な作業が伴いますが、幸いにも兵庫県立人と自然の博物館のご指導と瀬戸内オリーブ基金の助成をいただき、4つの団体の協力で順調にすすめられています。6つのコドラード(@100m×6)を春・夏・秋の植生調査と晩秋の全面刈りとハードな作業を続けております。平成22年は3年目に入り、一つの区切りの年と考えております。今後は行政の施策で、ネザサ刈りを続けてススキ草原の再生が実現する事を願うものであります。

なお、本会は、平成20年4月、森林ボランティア団体としては、全国で初めてとなる緑綬褒章を受章しました。



鉢伏高原自然学校。ブナツ子の周りの夏草を剪定鋏で刈りしている。

## ■連絡先

代表者 桑田 結 TEL : 090-3166-9785  
〒652-0884 兵庫県神戸市兵庫区和田山通1-2-25・D-102 FAX : 078-652-7625  
(有) 桑田製作所内

■ホームページ <http://www.bunawouerukai.jp>

■E-Mail : [buna@bunawouerukai.jp](mailto:buna@bunawouerukai.jp)

## ■主な活動地名

但馬地方の鉢伏高原、妙見山、おじろスキー場、瀬川稲荷上部、粗大池、上山高原、創造の森(久斗山)など10カ所でブナの植樹～育樹を行っている。六甲ブナの後継木を育樹。六甲山系グリーンベルト整備事業に参画。東お多福山ススキ草原の保全・再生事業に参加。

摩耶山の豊かな資源を市民が大切に守り、育て、生かし、伝えていく

## 摩耶の森クラブ



アジサイの美しい摩耶山だが、中でもコアジサイは清楚だ〈左〉  
ガクアジサイも美しい摩耶山〈中〉  
ペニドウダンツツジ。赤いかんざしのような〈右〉

### ○活動の趣旨

平成14年度、六甲山緑化100周年記念事業における市民懇話会から、これからの100年に向けた六甲山緑化の基本方針として、「六甲山の緑を総合学習や生涯学習などの場として利用し、六甲山の自然や環境に関する市民意識の向上を図り、市民の参画と協働を促す」との提言を受けた。

「摩耶の森クラブ」は、この提言のアクションプログラムとして、市民とともに観察会や森の手入れ活動などに取り組むことにより、摩耶山の環境保全、利用活性化を目指して活動している。

### ○活動概要

①活動開始時期 H19年5月開始

②開催日 毎月第4日曜日

午前10時30分～午後3時頃まで

③参加者 毎回、一般市民を対象に参加者を募集

④参加実績

年度	開催回数	参加者数	備考
H19	10回	367名	
H20	10回	459名	10月、3月雨天中止
H21	10回	391名	

### ⑥活動内容

年度	内容
H19	自然観察園の植栽、摩耶の大杉への誘導路整備・案内板設置 掬星台の整備、植物観察、野鳥の巣箱設置、摩耶山の歴史勉強会等
H20	自然観察園の階段整備、ハイキング道沿いの流木処理、岩の丘と園路 整備、摩耶の大杉への誘導路整備、野鳥観察会、冬芽観察会等
H21	自然観察園の階段整備・アジサイの植栽・枯木撤去、植物観察会、 キノコ観察会、摩耶山の歴史勉強会等



自然観察会状況。講師の話術でみなさん集中して聞いています。



ハイキング道作り状況。  
けもの道に手を入れて  
道作りの準備です。



アジサイ苗作り状況。アジサイの  
葉付き茎を鹿沼土に挿しました。



クリスマスツリーの飾りつけ状況。  
夜はこんな感じで綺麗に出来ました。



クリスマスリース作り状況。み  
なさんでリースを作りました。

### 摩耶山は、神戸市民のふるさとの山

摩耶山の豊かな資源を、市民が大切に守り、育て、生かし、伝えていく

六甲山系の中心に高くそびえ、古い歴史と豊かな自然、日本三大夜景にも数えられる眺望を持つ摩耶山。昔から市民とのつながりの深い山でもあります。

市民のみなさんと摩耶山の魅力を共有し、より親しみやすく美しい摩耶山をつくっていきたい。そんな思いから、摩耶山に関わりある方々の協力を得て、平成19年4月に「摩耶の森クラブ」は発足しました。

### ■摩耶の森クラブの活動方針

- ①摩耶山の自然を守り、育てる
- ②摩耶山の自然を紹介する
- ③摩耶山の歴史を紹介する
- ④摩耶山を景勝地としてPRする

### ■連絡先

代表者

〒651-1102 兵庫県神戸市北区山田町下谷上字中一里山4-1

TEL : 078-371-5937

FAX : 078-371-1087

■ホームページ <http://www.k5.dion.ne.jp/~kobemori/>

■E-Mail : mayanomori@w2.dion.ne.jp

### ■主な活動地名

掬星台及び摩耶山周辺

## 六甲山の素晴らしさを伝える六甲山自然案内人の会

## 六甲山自然案内人の会

六甲山の自然とその魅力を広く人々に伝えることを目的に平成15年に発足した市民団体です。会員のほとんどは“案内人”を養成する講座の修了生により構成されており、会員総数は現在73名です。

六甲山や丹生山などいわゆる六甲山地と呼ばれる山を中心に活動しています。活動の内容は以下の通りです。

- ①大人気！毎月一般の人々を対象に行われる定例自然観察会。  
毎月50名前後の人々が参加し、六甲山の自然、歴史とともに学んでいます。
- ②“案内人”養成。毎年4月から12月まで月一回六甲山の自然を学ぶ“案内人”養成講座。  
人と自然の博物館の先生方の指導を受け、六甲山の地質と成り立ち、植生、六甲特有の生物な



案内人養成講座  
人と自然の博物館の先生による観察会が人気の講座

どについて学んでいます。毎年30名近い修了者を輩出し、その中から半数近い人々が当会へ入会しています。

- ③子供たちと楽しく！小学校3年生を対象とした環境体験学習のお手伝いをするグリーンサポート。  
毎年数校からの依頼を受け、子供たちに自然に親んでもらえるよう楽しい観察会をつづけています。
- ④生物多様性の保全活動としての野生生物調査。  
毎年ヒメボタル、セミ、キペリハムシなどの生息分布、生態を調査しています。
- ⑤生物多様性の保全活動 その2  
兵庫県立六甲山自然保護センター環境学習プログラム。  
毎年コンペに勝ち抜き、広く一般の人々とともに六甲山の自然を学び、また生物多様性の保全



定例自然観察会  
毎回たくさんの参加者が集う当会の看板事業

のための活動をつづけています。本年度は前年につづき六甲山自生の樹木の採種、育苗、植樹を行い、より豊かな森づくりを実践します。

- ⑥生物多様性の保全活動 その3  
各種イベント・セミナーへの参加。  
生物多様性の保全活動の一環として兵庫県などが主催するさまざまなイベントやセミナーに参加しています。
- ⑦会員のスキルアップのための各種自主研修。  
植物観察会、野鳥観察会、水生生物生息調査などの活動を通して、会員相互のスキルアップを図っています。

以上、このような活動を通して自然の素晴らしさを知り、その自然を護る心と手法を学び、生物多様性保全へ貢献しているのが六甲山自然案内人の会です。



イベント参加  
子供たちに超人気のクラフトづくり



環境学習プログラム  
100年の森を育てる活動を今年もつづけている



環境体験学習（グリーンサポート）  
子供たちとともに仲良く楽しく学ぶ

## ■連絡先

代表者 松本直司  
〒655-0012 兵庫県神戸市垂水区向陽2-5-7

TEL : 078-707-3626  
FAX : 078-707-3626

■ホームページ [http:// rokkosan.gotohp.jp/](http://rokkosan.gotohp.jp/)

■E-Mail : [ma052200@gmail.com](mailto:ma052200@gmail.com)

## ■主な活動地名

六甲山地

## 六甲山と丸々仲良く！六甲山の自然に親しむ会

## 六甲山の自然に親しむ会

六甲山の自然に親しむ会の目的は、六甲山を歩きながら自然を観察し、『自然と人の関わりを考える』ことです。東西に長い六甲山地ですが毎月コースを変えて自然観察ハイキングをやっていきます。エコツアーみたいなことになるでしょうか。もっと六甲山を知りたいと数人で始めた会は毎回40人前後にふくれ、植物中心に自然に触れ、感じ、



観察風景 1



観察風景 2



林の笹藪で見つけた。今は？

知り、楽しめます。始めて10年、当然同じコースも観察対象ですが、同じ姿はありません。「六甲山ってすごい」「何時来ても違う」「植物の種類も多い」と言われながら、春にはコバノミツバツツジの鮮やかな紫紅色、木々の芽吹き、その合間に見えるヤマザクラやタムシバの花は「美しい」の一言、夏には緑陰の森を観察、ササユリやアリマウマノスズクサに会えるのもこの頃、秋には木々の紅葉や実りに歓声を、冬にはアジサイやカエデの仲間、クロモジ等々の冬芽を観ながら樹木との対話です。

六甲山は、政令都市という市街地の真ん中にあります。珍しい植物を追うよりも普通にあるものが目線でじっくり見られて、基本的な観察にはとても良いフィールドだと思っています。

野鳥も話題、ソウシチョウのおしゃべりを始めシジュウカラ、オオルリ等々目や耳を楽しませてくれます。時には昆虫も仲間に入り食草を気にか

花崗岩の岩場で全開中〈左〉  
一度見たら忘れられない六甲山の花〈右〉

け、歴史・文学も関連させながら、自然のたくましさや繊細さや生き様、お互いの連鎖を実感しながら歩きます。また、目の前に広がる六甲変動の跡からは地球の歴史が伝わってきて、これはすごいことです。

今、六甲山には人の手が沢山入ってきています



地球の歴史を考えてしまう



清楚で品格のある花

が50年、もっともっと100年先を見越して、この山らしい姿を後世に残せるようにしたいものです。参加は自由、来たい者が集まり出発です。TEL/FAX の問合せでも、インターネットでも知ることが出来ます。

①六甲山は神戸市の真ん中にある緑の山地、市街地から海原まで一望の景観は、いつも参加者から感嘆の声が上がるところです。

②春の山の香り一番はコアジサイ、清楚な淡青紫色の花からほのかに漂う香りは優雅で好きな花の一つ、秋は落葉から漂うカツラやタカノツメ、食欲増進の香りです。変わり者はアリマウマノスズクサ、花や実の形も、香りも独特、人気者です。

③古くから、特に万葉・平安時代から、日本の歴史や文学の舞台として登場するのも自然との関わりが大きいと思いますし、教室では得られない実感の場所ですね。

六甲山の自然に触れて得られたことは他地域に行ってもきっと活用できますよ！

## ■連絡先

代表者 遠井方子  
〒657-0028 兵庫県神戸市灘区森後町3-5-29-604

TEL : 078-843-5041  
FAX : 078-843-5041

## ■主な活動地名

六甲山地

六甲山の自然と遊び、学び、そして六甲山の自然を守る。

## NPO法人 六甲山の自然を学ぼう会

本会は六甲山の自然の豊かさと重要性をより多くの市民に知ってもらうことによって、市民に自然を大切に心が醸成されて、これが六甲山の環境保全につながるとの理念のもとに、4年前に設立されました。活動内容は大きく分けて ①(株)神戸製鋼所が運営する体験学習施設である灘浜サイエンスエンススクエア(以下NSS)での六甲山の自然をテーマとした環境教育 ②兵庫県から委託を受けて実施する兵庫県立六甲山自然保護センター(以下自然保護センター)での六甲山の自然についての講演と自然観察会④六甲山の自然について記載したパンフレットの作成 ③六甲山の植物調査です。

その中でもメインの活動場所はNSSですが、そこでは子供向けイベントとしてネイチャークラフト、ネイチャーゲーム、NSS内にあるピオトープの観察会などを年間10回行なっています。また大人向けイベントとして、六甲山の自然につい



顕微鏡での観察

での講演などを年間8回行なっています。どのイベントも満員御礼状態で参加者のリピータ比率は70%と高く、年間で約1300名の方の参加があります。ネイチャークラフトでは子供たちに創造性の豊かさには驚かされます。大人は見本を参考にしないと作品が作れませんが、子供は見本を見ずにどんどん作品を作っていきます。どのような面白い作品を作ってくれるかが主催者側として最大の楽しみです。ピオトープの観察会では子供たちにピオトープの魚を捕ったり触ったりしてもらいます。子どもたちが素手で魚を触っている時の真剣な眼差しは何物にも変えがたいすばらしさがあります。

最近、力を入れているプログラムは生態系の根底を支える土壌生物と水生生物の観察です。『セブン・イレブンみどりの基金』を2008年度、2010年度の2回にわたり、合計172万円取得で



ピオトープでの観察



タムシバが4月初めに六甲山を白く染めます(左)  
コバノミツバツツジは六甲山のツツジ属の植物で真っ先に咲きます(中)  
ヤマアジサイは株により花の色も花弁の形も多彩です(右)

き、これを資金に実体顕微鏡を20台購入しました。これらの顕微鏡を駆使して土壌説物や水生動物などのミクロの世界の生き物を子どもたちに観察させ、食物連鎖や物質循環の仕組みを体験学習させています。いつもは見ることでできない生き物たちを見ることにより広い視野で自然を見て、理解し、理科好きの子どもたちが増えることを切に願っています。

また六甲山は多くの種類の植物が自生し、生物多様性に富んだ山です。本会の会員が1000種類以上の六甲山に自生する植物の画像データを所有しているのでこのデータを使って六甲山の自然の豊かさをより多くの方々に知っていただくためのパンフレット『六甲山花ごよみ』『六甲山のアジサイ』『六甲山のツツジ』を作成し、自然保護センターや神戸市立森林植物園などで訪問者へ無料配布しています。

以上のような活動は資金面などの問題で1NPO法人だけでは実施していくことが難しいです。そのため本会は社会貢献活動に熱心な企業とタイアップして実施し、活動の継続とレベルアップを図っています。



六甲山のアジサイパンフレット

六甲山は氷河期に南下してきた植物が今も残存しているものが多い。そのひとつがオオイワカガミです。5月初めに淡い赤色から淡いピンク色の華やかな花が咲きます。六甲山の花の女王と呼ぶにふさわしい風貌を持っています。



### ■連絡先

代表者 清水孝之

〒651-1111 兵庫県神戸市北区鈴蘭台北町9丁目19番8号

TEL : 078-594-4350

FAX : 078-594-4350

■ホームページ [http:// www.rokkosan-shizen.com/](http://www.rokkosan-shizen.com/)

■E-Mail : [f.chopin@iris.eonet.ne.jp](mailto:f.chopin@iris.eonet.ne.jp)

### ■主な活動地名

神戸市

『六甲山を楽しまなくちゃ もったいない』

## 六甲山を活用する会

2002年に設立した「六甲山を活用する会」は、「六甲山を楽しまなくちゃ もったいない」をモットーに、六甲山という貴重な自然環境を山麓市民が支えて活かすことを目指しています。記念碑台周辺を自然環境系の拠点に、地域研究の情報発信、環境整備・調査の推進、生涯学習・環境学習の促進など多様な活動を進めています。

## 1. 環境整備活動が「二つ池環境学習林」へと発展

6年前から六甲山上の記念碑台周辺の散策路の整備や植生の回復調査を行い、通称「二つ池」の水生生物の生態調査にも取り組んでいます。モリアオガエルの棲息状況を3年にわたって継続調査し、最近ではヒメボタルの観察も行っています。

昨年「二つ池」東側の雑木林中、六甲山上で密生して多様な植生を阻害しているアセビの伐採調査に着手しました。有効なデータを集めて関係者にも提供する予定です。



六甲山環境整備協議会で月例の環境整備・調査



二つ池の環境学習

また、「二つ池」を含む雑木林を借り受けて、一帯を「二つ池環境学習林」に保全・整備する構想を描き、環境設計にも携わっています。市民団体による環境整備活動が進化・発展しているモデルケースと自認して、多くの方の賛同と協力を求めています。



雑木林を学習林に！アセビ伐採調査に着手

モリアオガエルの卵塊の調査を3年継続中(左)  
オオルリボシヤンマの再飛来を待望(右)

## 2. 「子どもパークレンジャー」で四季の環境学習

4年前に環境省の委託を受けて、冬の六甲山上で「六甲山子どもパークレンジャー」という環境学習プログラムを運営しました。現在では環境省の事業に代わって、行政や様々な助成団体の支援をいただき、四季の「六甲山子どもパークレンジャー」を自主運営しています。

「二つ池環境学習林」を活動フィールドにして、環境整備や環境調査を担っている人と蓄積した記録・情報を活用し、「六甲山らしい」環境学習プログラムの確立も目指します。小学3年生以上の学童を主な対象に、環境の調査・観察を行って、生態系についての理解を育みます。

このほか毎月第3土曜日午後には、六甲山上記念碑台にある県立六甲山自然保護センターで、「六甲山魅力再発見市民セミナー」を行っています。詳しくはホームページをご覧ください。



梅雨入りの日、モリアオガエルの観察会を実施

## 参加者募集のお知らせ

## 1. 環境整備のボランティア

毎月第3土曜日、市民セミナー開催日の午前中に、月例環境整備・調査活動を行い、毎月1回～2回の臨時環境整備を実施します。ササ刈りなどの軽作業が主で、必要器材の貸与、ボランティア保険や交通費の補助もいたします。

## 2. 子どもパークレンジャー

6月にモリアオガエルの観察会、7月にヒメボタルの観察会、8月に夏の「六甲山子どもパークレンジャー」、9月にトンボの観察会、来年1月に冬の「六甲山子どもパークレンジャー」を開催します。小学校3年生以上の学童、学生や一般市民の参加を募集します。

ヒメボタルの夜間観察会を  
7月10日に開催

## ■連絡先

代表者 代表幹事 堂馬英二  
〒657-0028 兵庫県神戸市灘区森後町2-1-3 山田ビル2階  
(株) ワークスタイル研究所内

TEL : 050-3743-9897  
FAX : 078-856-6616

■ホームページ <http://www.rokkosan-katsuyo.com/>

■E-Mail : [info@rokkosan-katsuyo.com](mailto:info@rokkosan-katsuyo.com)

## ■主な活動地名

瀬戸内海国立公園 六甲地区  
記念碑台周辺、近畿自然歩道沿いの雑木林など

## 地域・地元の自然との共生を目指す麒麟ビール神戸工場

## 麒麟ビール株式会社 神戸工場

麒麟ビールは省資源をテーマに、事業を通じて地球温暖化防止につとめ、環境保全の取組を実践・お客様への環境価値の提案を通じ、自然と共生した豊かな社会の実現に貢献する環境経営先進企業としての活動を継続しています。「地域との共生」を掲げる神戸工場は、地域に密着した環境美化活動を実施し、また生物多様性戦略の実践の一環として、地域の絶滅危惧種カワバタモロコの工場内レフュジアビオトープでの繁殖に成功しました。



ビオトープから工場全景

## ①省資源の取組推進

麒麟ビールは二酸化炭素の排出量を2009年の時点で1990年と比較して35%削減するという目標を掲げこれを2007年に前倒しで達成。神戸工場でも工場内で使用するエネルギーの削減を行い、二酸化炭素の排出量の削減に継続的に取り組んでいます。また節水を徹底し、さらに製造過程の副産物についても再資源化100%を維持し、業

界内でもトップクラスの省エネルギー・省資源の工場です。

## ②地域に密着した環境美化活動

大麦・ホップなど自然の恵みからビールを造る企業として、神戸工場では地域に密着した環境美化活動を実施しています。水源林の植樹・下草刈りなどの保全活動「水源の森づくり」を、2000年に開始。以来グループ企業も含めた社員・家族・地元ボランティアの参加のもとで継続実施しています。

工場内では周辺の自然と一体化するよう設計された緑地が、全面積の30%を占めるとともに、毎年社員自らの手で新たな植樹を実施し緑地の維持・充実に努めています。この結果2009年には「緑化優良工場等経済産業大臣賞」を受賞しました。

## ③ビオトープと絶滅危惧種カワバタモロコの新天地創出

敷地内のビオトープの目標をつい30年前には神戸市北区の里水辺にごく普通に住んでいた水生生物を再現することと定め、目玉を絶滅危惧種の



カワバタモロコ



小学生の観察会

カワバタモロコに絞りました。2002年に200個体以上のカワバタモロコを近隣のため池から移植し、その後の増加の様子を小・中・高等学校の生徒さんたちと人と自然の博物館との協働で追跡しています。ビオトープに住むカワバタモロコの採

集数はここ数年1,000匹弱で安定して定着に成功しました。遺伝的多様性を考慮した放流ガイドラインも策定中で、さらに新たな新天地を近隣地域で展開する段階に入りました。



カワバタモロコ トラップ採集の年変化

カワバタモロコの採集数の年変化

【ビオトープ見学・工場見学も受け付けています。(要予約)】

- ・詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.kirin.co.jp/about/brewery/factory/kobe/>
- ・ご来場には「R三田駅・神鉄三田駅と麒麟ビール神戸工場を結ぶ、「ラガーバス」が便利です。
- ・交通アクセス



## ■連絡先

代表者 執行役員工場長 箕浦直哉  
〒651-1516 兵庫県神戸市北区赤松台2-1-1

TEL : 078-986-8005  
FAX : 078-986-8021

■ホームページ <http://www.kirin.co.jp/about/brewery/factory/kobe/>

## ■大阪方面から

JR 大阪駅より JR 福知山線「三田駅」下車、バスおよびタクシーで約15分

## ■神戸方面から

三宮駅から北神急行(地下鉄)「谷上駅」乗り換え、神戸電鉄「三田駅」下車、バスおよびタクシーで15分

環境の未来を探れ! ~見た目は子ども、知識は大人!??~

## こうべ環境未来館

「こうべ環境未来館」は、ごみ問題や地球温暖化防止対策についてわかりやすく学び、「環境にやさしい行動・暮らし」をはじめていただくきっかけ作りの場として平成16年6月に開設しました。神戸市の環境教育の拠点施設として、ごみの減量資源化と地球温暖化に関する市民啓発や情報発信を行っています。

施設内には、映画のセットのように作られた展示で、ごみ問題の謎を解決していく体験コーナーや、地球温暖化に関するシアター鑑賞によって地球の今について学習できるコーナーのほか、風力発電装置や太陽光発電装置があり、館内のコーディネーターが案内しながらわかりやすく解説します。その他にも、館内ではごみとして出された自転車や家具等のうち、まだ使えるものを修理して展示しています。展示した再生品は安価な値段で購入することもでき、市民に対する3Rの啓発も行っています。



館内エントランスに展示するリサイクル品

また、隣接する神戸市資源リサイクルセンターでは、缶・びん・ペットボトルを選別して圧縮する工程を見学することができます。(土日連休、団体要予約)

当館では、自然に親しむことや、ごみと資源の重要性、地球温暖化防止などを学ぶため、月1回程度、親子で参加できる体験型の環境学習講座(エコスクール)を開催しています。こうべ環境未来



神戸市の環境教育の拠点施設として平成16年6月に開館

生物多様性に関するこんな仕事をしています。

セミナー・講習会の開催

館周辺は川や里山など自然環境に恵まれているので、この地形を活用し、「生物多様性」をテーマとした自然豊かなフィールドでのプログラムも実施しています。また、民間企業の教育資源を活用・連携して、多様で魅力あるプログラムを提供しています。(協力企業：大阪ガス株式会社、関西電力株式会社神戸支店、キリンビール株式会社神戸工場、コカ・コーラウエスト株式会社、株式会社栗本鐵工所、森永乳業株式会社、株式会社神戸製鋼所)

さらに、こうべ環境未来館敷地内には、市民のみなさんと手作りで整備したビオトープ「未来の泉」があり、これを市民主体の「未来の泉を育てる会」とともに管理し、整備活動や水辺の生きものに関する観察会を月1回程度、主に第1土曜日に行っています。神戸のため池で生息する絶滅危惧種の淡水魚「カワバタモロコ」も観察することができます。

ぜひ、「こうべ環境未来館」へお越しください!



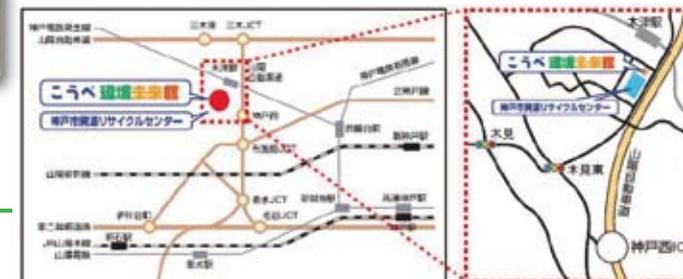
未来館周辺を活用したエコスクールの活動風景



市民主体で管理を行うビオトープ「未来の泉」



地球温暖化に関するシアター鑑賞



### ■連絡先

代表者 山口 俊雄(責任者)  
〒651-2228 兵庫県神戸市西区見津が丘1丁目9番地

■E-Mail : otoiawase@kobe-miraikan.com

TEL : 078-995-3196

FAX : 078-995-3192

### ■交通アクセス

#### 【電車ご利用の場合】

・神戸電鉄粟生線「木津駅」下車 徒歩約5分

#### 【車ご利用の場合】

・県道22号神戸三木線 木見交差点から東へ約1 km  
・山陽自動車道「神戸西インターチェンジ」から約2 km

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎週水曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始(12月28日～1月4日)

## ジャイアントパンダの日中共同飼育繁殖研究

# 神戸市立王子動物園

動物園の役割としては健康的な命に触れる憩いの場、野生動物を体感し、生態の理解に役立てる広い意味での環境教育の場、動物を絶滅させないよう動物が生息している地域内、地域外で種を保存する場、動物の行動などを調べる調査、研究の場があります。

このうち、王子動物園が取り組んでいる主なものとして、稀少動物であるジャイアントパンダの種を保存するため、日中共同の繁殖研究を行っています。野生のジャイアントパンダは中国の高地で約1600頭に減少し絶滅に瀕しています。王子動物園には2000年7月に2頭のジャイアントパンダが来園し、以来中国の専門家、大学などと共同して繁殖研究に取り組んでいますが、10年を経過した現在も繁殖に成功していません。動物を繁殖させるためには、それぞれの動物の特性を見極めて、自然交配、人工交配を行います。ジャイアントパンダはその中でもとりわけ難しく、年に1



ジャイアントパンダの「旦旦（タンタン）」(メス)

回しか発情がなく、また受胎のチャンスも365日のうち1日程度しかないため、繁殖には行動やホルモン値、食餌量、細胞などの変化を観察し、正確に排卵日を予測する必要があります。10年間のデータの積み重ねでやっと分かってきましたが、それさえも不確定なものです。共同研究期間は10年間となっていたため、今後どうするのか中国側と協議していましたが、この度5年間延長することになりました。皆さんにかわいい赤ちゃんパンダを是非お見せしたいと思っています。

また、王子動物園内にある動物科学資料館ではジオラマ、骨格標本などの常設展示、季節ごとに変わる特別展示、動物のことをもっと調べてみようと思っている皆さんのためのビデオコーナー、動物図書館などを併設しています。また、小学校低学年、中学生の校外学習、教職員の研修の場と



ジャイアントパンダの「興興（コウコウ）」(オス)

### ■連絡先

代表者 園長 杉村啓介  
〒657-0838 兵庫県神戸市灘区王子町3丁目1

TEL : 078-861-5624  
FAX : 078-861-5640

■ホームページ <http://www.city.kobe.lg.jp/ojizoo/>

■E-Mail : [kobeojizoo@office.city.kobe.lg.jp](mailto:kobeojizoo@office.city.kobe.lg.jp)

### 生物多様性に関するこんな仕事をしています。

質問対応／展示学習／セミナー・講習会の開催／共同調査・研究

して利用していただけるよう「なるホド！動物教室」も予約制で開いています。身近にある動物園をもっと活用されてはいかがでしょうか。



王子動物園入園ゲート



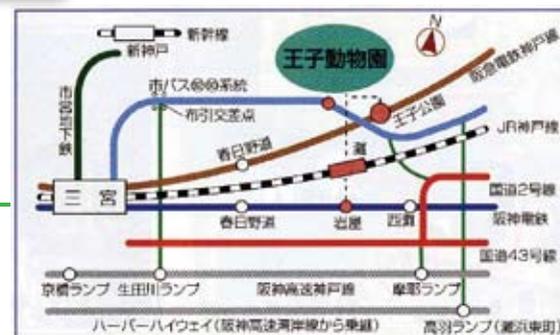
共同研究延長記念式典



人工授精の様子



人工授精の様子



### ■交通アクセス

阪急「王子公園」駅から徒歩3分  
JR「灘」駅から徒歩5分  
阪神「岩屋」駅から徒歩10分  
神戸市バス90・92系統「王子動物園前」下車すぐ

## 四季折々の自然や世界各地の樹林景観を楽しめる植物園!

## 神戸市立森林植物園

森林植物園は六甲山地の西部に位置し、日本の代表的な樹木や世界の樹木を、原産地別に植栽しています。「四季折々の自然を背景に、端正な樹形をした針葉樹を樹林として育て、季節を彩る落葉樹や花木をそえる」という構想のもと、1940年（昭和15年）創設された総面積142.6haの樹林景観を楽しんでいただける植物園です。

ところで、「六甲山地は明治の中頃までは、ほとんどが禿山であった。」ということは、よく知られています。それが今日のような緑豊かな山に回復したのは、明治後期からの先人たちの弛まぬ植林と管理の功績によるものです。森林植物園はそのような緑化事業の進むなか、より多くの皆さんに六甲の自然や緑の大切さ、自然との共生などについて、学んでいただける機会を提供する施設を目指しています。

そのため、多くの来園者のみなさまが森林植物園の四季折々の自然に浸り、身近に樹木や野草、



毎年の時期にはボランティアによる解説が行われます



主に小学生3年生に向けた対応もしています

野鳥や昆虫など多くの生き物にふれあうことで、自然の魅力や大切さを肌で感じていただける空間づくりに努めています。そのためには、各種研究機関、大学、植物研究グループなどとの連携・協力はもとより、市民ボランティア、地域住民の方々との協働・参画による植物園活用の体制づくり、機能の充実を図ることが重要であると認識しています。

そして、森林植物園としての貴重な空間を守り次の世代に受け継いでいくためにも、更に多くの方々がこの植物園に親しみ、環境学習や生涯学習の場など、様々な活動目的に応じて利用でき、みなさまに愛される植物園を目指していきます。

なお、近年は「神戸市民の花」として親しまれているアジサイを、神戸の植物園として、アジサイのもつ多様性とその魅力を紹介するための取り組みを行っています。その一環として、日本原産

## 生物多様性に関するこんな仕事をしています。

展示学習／生物多様性を考慮した植物管理

の多種多様なヤマアジサイなどをはじめ、外国産のアジサイや、日本のアジサイが西洋に渡り、改良種として逆輸入した品種なども含め、現在では、25種 約450品種余りを収集し当園の一角に「あじさい保存園」として保存育成※しています。※「種の遺伝的多様性における栽培管理」

## 森林植物園での里山的生物多様性の保全に向けた管理法

- 1) 繁殖力旺盛なネザサやスキの抑制  
他の草本自生種の保全再生
- 2) スイレン等の水草繁茂の調整  
スイレンをはじめ、繁殖力旺盛な水草の季節に応じた管理



林床を生かして、オミナエシなどの秋草の保全管理に努めています



樹液にさまざまな昆虫が集まります

- 3) 園内自生種の保護のため  
繁殖力旺盛な外来植物の抑制
- 4) ササユリなど希少自生種の保全と再生に向けた林床管理  
盗掘やイノシシ被害の防止対策や保全的草刈
- 5) 県内希少種の保護と育成保存



アサザとスイレンが咲き誇っています



## ■連絡先

代表者 園長 青木孝知

〒651-1102 兵庫県神戸市北区山田町上谷上字長尾1-2

TEL : 078-591-0253

FAX : 078-594-2324

■ホームページ <http://www.kobe-park.or.jp/shinrin/>

■E-Mail : [arboretum@kobe-park.or.jp](mailto:arboretum@kobe-park.or.jp)

## ■交通アクセス

○電車ご利用の場合

神戸電鉄「北鈴蘭台駅」から定時無料送迎バスあり（1時間毎）

○バスご利用の場合

三宮から神戸市バス25系統で40分

（4月～11月の土曜・日曜・祝日のみ）

○車ご利用の場合

国道428号線（小部峠）から

東（六甲山方面）へ3分

## 教室は水族園とフィールド

## 神戸市立須磨海浜水族園

須磨海浜水族園は、日本だけでなく世界中の海や川にすむ海獣、魚類および無脊椎動物を展示しています。その数、約600種13,000点。サンゴ礁の華やかな色とりどりの熱帯魚、大海のスケールの大きさを感ずる大水槽のサメやエイ、太古の昔からひっそりと命を育んできた古代魚、暗闇の深海で脈々と生き続ける巨大なカニ等。世界中の多様な環境には、そこに適応しながら生き続けている無数の生物種がいます。水族園は、この生きた多様性を学ぶには、正にうってつけの場所です。



園長による園内案内

今年4月からは、毎週金曜日と土曜日にこれらの豊富な水族を見ながら園長が解説する「スマスイ探訪ツアー」を実施しております。地球ではどうしてこのように多くの種が分化していったのか、その進化の過程は、環境との因果関係は、エコロジーを魚の種間関係からみると、などなど考えていくと興味がつきません。

現在、そのつきない興味を、神戸市を中心としたフィールドにも展開しています。

神戸市内を流れる新湊川、住吉川、明石川等で



川での環境学習

は、近隣の小学生から高校生、地元の方々と協力しながら観察会を行っています。市内の都市河川は人工的要素が強く、必ずしも豊かな自然とは言えません。しかし、生きものが住みやすい川となるように巨石を入れ、植栽する等の地道な活動が、少しずつ実を結びつつあります。その結果、天然アユやウナギも確認され、意外に多い生物相に驚かされることもあります。また、水族園内では、「身近な生きもの」コーナーで、これらの魚類の展示や紹介もしていますので、是非ご覧下さい。

海の生物の観察会についても、市内の小学校や一般の人々を対象に実施しています。安全に観察ができる場所として、現在はアジュール舞子をよく利用しています。アジュール舞子は人工海浜で

## 生物多様性に関するこんな仕事をしています。

展示学習／セミナー・講習会の開催／共同調査・研究

すが、砂浜の周辺に岩場が造成され、藻場も形成されているため、多くの生物種が確認できます。観察会では、生きものを発見する喜びを感じてもらうとともに、砂浜と岩礁、浅場と深場、波が強くあたる場所と岩陰等の環境の違いによってすんでいる種類が違うこと、卵から仔稚魚を経て、成魚などのステージごとに適した環境を利用していることを実感してもらっています。

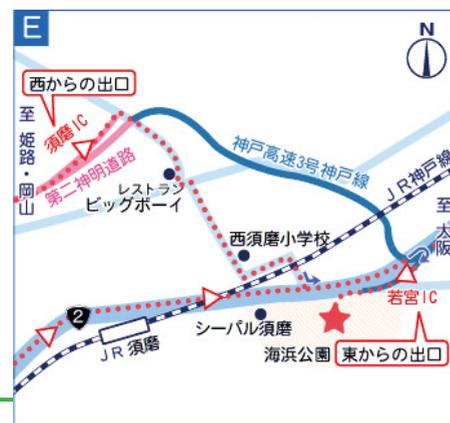
また、この春から、飼育員による水族園近隣の海の調査も開始しました。その成果を「大阪湾で今の時期に見られる稚魚たち」という企画展で、クロメバル、ホンペラ、ムラソイ、タケギンボ等の目にふれる機会の少ない稚魚を展示しました。身近な海でありながら、意外と知らない人が多いのではないのでしょうか。この企画は継続して実施し、季節とともにいろいろな姿を見せてくれる身近な海を紹介していく予定です。

このように須磨海浜水族園では、生きた教材を



海での環境学習

用いて自然を学ぶ活動を、積極的にを行っています。夏休みには、川や海のフィールドでの遊び方や観察の仕方を紹介し、実際に親子で学習体験する企画も行いました。ご要望に応じて、各々の地域の特徴に沿った手作りの教材で対応していますので、お気軽にご相談下さい。



## ■連絡先

代表者 亀崎直樹 (担当 研究教育部 日和田)  
〒654-0049 兵庫県神戸市須磨区若宮町1丁目3番5号

TEL : 078-731-5020  
FAX : 078-733-6333

■ホームページ <http://www.sumasui.jp>

■E-Mail : [info@sumasui.jp](mailto:info@sumasui.jp)

## ■交通アクセス

- ・徒歩－JR 須磨海浜公園駅から南に歩いて5分、山陽電車月見山駅から南に歩いて10分。
- ・バス－81系統バス JR 新長田駅から約10分、JR 須磨駅、山陽須磨駅から約5分
- ・車－阪神高速3号神戸線 東からの出口 若宮IC降りてすぐ。西からの出口 須磨IC降りて南に5分。

見て、感じて、植物の大切さを知ろう！

## 六甲高山植物園

阪神間の庭園「六甲山」。六甲高山植物園はその山頂付近に位置し、年間平均気温が約9度という北海道南部に相当する気候を活かして、高山植物を中心に世界の寒冷地植物、六甲山の自生植物など約1,500種を栽培しています。そしてそれらの植物たちを大都会から車で30分という気軽さ



2つある入口のうちの「西入口」です

で、観察・鑑賞できる植物園です。

5haの園内は、生育環境に合わせてロックガーデン、湿性区、樹林区に区分されています。その中のロックガーデンに高山植物を植栽・展示しています。ロックガーデンとは高山の岩場の風景を模したもので、さらにその構造は水はけ、通気性を高めてより高山帯に近い生育環境を作り出すためのものです。高山植物などを自然に近い状態のもとに配置し、生育に適した環境のもとで鑑賞することを目的とします。このロックガーデンを利

用して植物園での一番の大きな取り組みである高山植物の馴化栽培を70年以上にわたって行っています。



ロックガーデン

高山植物は、生育地がとても限られており、その土地にしかない植物や希少な植物が多いことが特色です。また育つ環境に敏感なため、高山植物や亜高山植物は絶滅危惧植物に指定される割合も自然と多くなっています。

植物の種を絶滅から救うためには、「生育地の保全」が第一であることは当然ですが、植物園などを緊急避難的な保存、増殖に利用する「施設内保全」という方法もあります。施設内保全では、とにかく植物を何らかの生きた状態で維持することが目的です。高山植物の場合は、長年植物を栽培することによって、本来その植物が生育する環境とは異なる環境下で育つように気候・風土に慣らしていく「馴化（じゅんか）栽培」の継続があげられます。本園ではコマクサなどの日本の高山植物の馴化に成功しています。

生物多様性に関するこんな仕事をしています。

展示学習／セミナー・講習会の開催



コマクサは日本の代表的な高山植物。園での花期 6月

当園では都会や低地に比べると恵まれた気候とはいえ、夏の高湿多湿、冬の積もっては溶ける中途半端な積雪など高山植物が生育するには難しい環境であることは間違いありません。けれど高山植物の馴化栽培は、生物の多様性における種の保存のための大切な試みのひとつであると信じて私たちはがんばっています。そして、栽培した植物やその大切さを広く多くの人に伝えていくことも大切です。

また、日本植物園協会の「植物多様性拠点ネットワーク」の拠点園としても、地元の植物の保全を進めるとともに、「絶滅危惧植物展」や兵庫県のレッドデータブックにあげられている地元六甲山の植物を紹介した「ふるさとの植物を守ろう展」などの企画展を行い、多くの人に見ていただきました。

また、毎日2回無料で花のガイドを行っています。花の名前を紹介するだけでなく、その植物の生育環境から森の恵み、自然の大切さなどを五感で感じていただきながら楽しくお伝えしています。



花のガイドの様子

### ■連絡先

代表者 園長 赤田和則

〒657-0101 兵庫県神戸市六甲山町北六甲4512-150

■ホームページ <http://rokkosan.com>

TEL : 078-891-1247

FAX : 078-891-0137

### ■交通アクセス

【大阪方面】阪神高速3号〔神戸線〕・魚崎出口→表六甲ドライブウェイ経由

【姫路方面】阪神高速7号〔北神戸線〕・からと西出口→裏六甲ドライブウェイ経由

【有馬方面】有馬街道→裏六甲ドライブウェイ経由